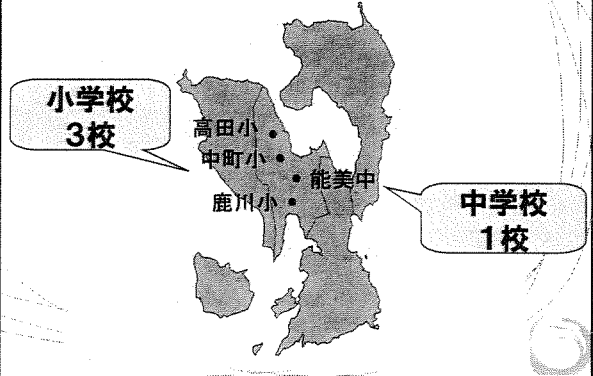


平成24年度  
広島県道徳教育研究協議会

# 実践報告

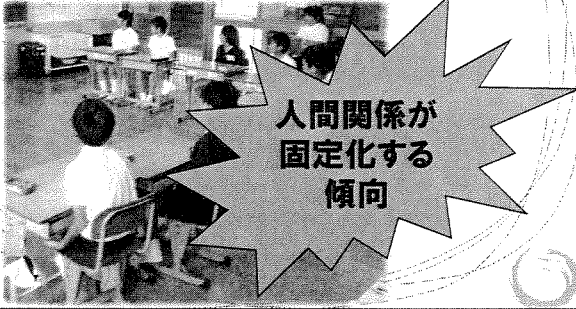
能美中学校  
高田小学校  
中町小学校  
鹿川小学校

## 能美中学校区推進地域



### 課題

小規模校でクラス替えがない



### 課題 自尊感情

「自分にはよいところがある」

小学校 (3校平均)	62.6%	中学校	56.1%
広島県平均	73.8%	広島県平均	60.5%

-11.2P      -4.4P

### 中学校へ入学

高田小学校

中町小学校

鹿川小学校

能美中学校

適応及び  
生徒指導上の  
課題

### 能美中学校区推進地域において

自尊感情  
を高める

共感する力や思いやりの心、協力し合う態度を育てる

集団や社会の一員としての自覚と責任を育む

## 研究主題

豊かな人間性と社会性を育てる  
道徳教育の創造

～生徒指導の三機能と道徳の時間との関連を生かして～

## 生徒指導の三機能

自己決定の場を与える

自己存在感を与える

共感的人間関係を育成する

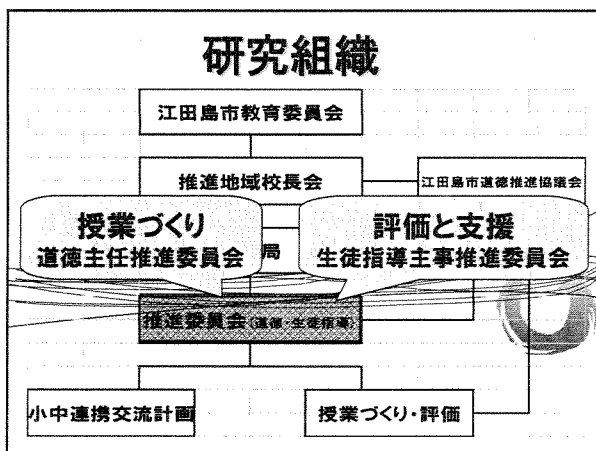
## 研究内容

- (1) 小中連携教育の推進体制の確立
- (2) 共感する力や思いやりの心、協力し合う態度を育て、集団や社会の一員としての自覚と責任を育む道徳教育
- (3) 実態把握と支援の在り方

- (1) 小中連携教育の推進体制の確立

## 小中連携教育の研究組織

## 研究組織

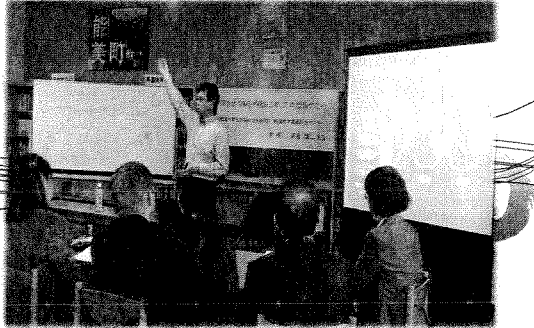


## 研修計画

4月	小・中合同研修会・・・全教職員
5月	授業研究(鹿川小学校)
7月	授業研究(中町小学校)
8月	小・中合同研修会・合同学習指導案検討・・・全教職員
9月	授業研究(高田小学校)
10月	授業研究(高田小学校) 授業研究(能美中学校)
12月	授業研究(鹿川小学校)
1月	能美中学校区推進地域道徳教育研究大会

## 4月 合同研修

「豊かな人間性と社会性を育てる道徳教育の創造」



## 8月 合同研修

「生徒指導の三機能と関連を図った道徳教育の在り方」



## 研修計画

4月	小・中合同研修会
5月	授業研究(鹿川小学校)
7月	授業研究(中町小学校)
8月	小・中合同研修会・合同学習指導案検討
9月	授業研究(高田小学校)
10月	授業研究(高田小学校) 授業研究(能美中学校)
12月	授業研究(鹿川小学校)
1月	能美中学校区推進地域道徳教育研究大会

## 授業研究



## 授業研究



## 研究協議会

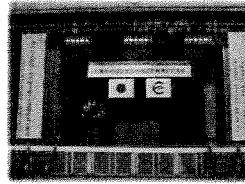


## 合同学習指導案検討



全教職員が低・  
中・高学年・中学  
校に分かれて検討

## 能美中学校区推進地域 道徳教育研究大会

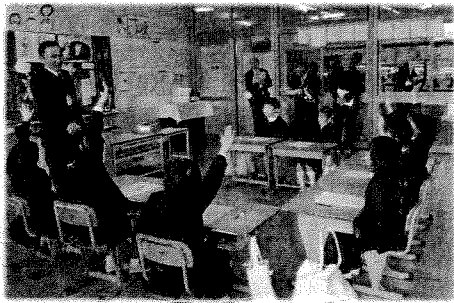


～授業風景と各校の  
研究のあゆみ（パネル）～

平成25年 1月 30日(水)  
場所: 江田島市立鹿川小学校

## 能美中学校区推進地域道徳教育研究大会

高田小学校 第2学年 2-(2)思いやり・親切  
「くりのみ」



## 能美中学校区推進地域道徳教育研究大会

高田小学校 研究のあゆみ



## 能美中学校区推進地域道徳教育研究大会

中町小学校 第3学年 4-(3)家族愛  
「おばあちゃんのおにぎり」



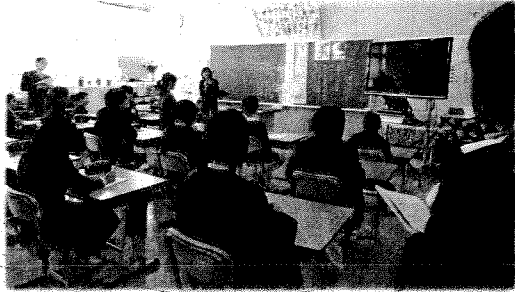
## 能美中学校区推進地域道徳教育研究大会

中町小学校 研究のあゆみ



**能美中学校区推進地域道德教育研究大会**

鹿川小学校 第5学年 2-(3)信頼・友情  
「ロレンゾの友だち」



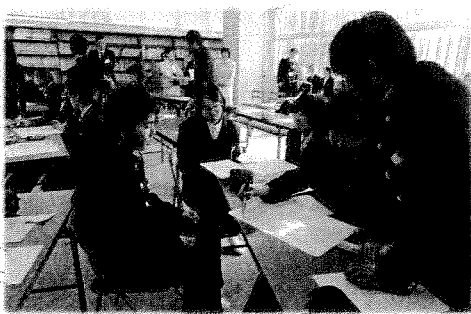
**能美中学校区推進地域道德教育研究大会**

鹿川小学校 研究のあゆみ



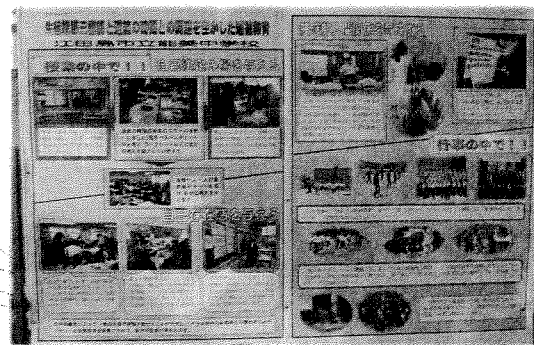
**能美中学校区推進地域道德教育研究大会**

能美中学校 第2学年 1-(5)個性の伸長  
「コンプレックス」



**能美中学校区推進地域道德教育研究大会**

能美中学校 研究のあゆみ



(2) 共感する力や思いやりの心、協力し合う態度を育て、集団や社会の一員としての自覚と責任を育む道德教育

**①指導内容の重点化と  
発達の段階に応じた指導**

**めざす子ども像系統表**

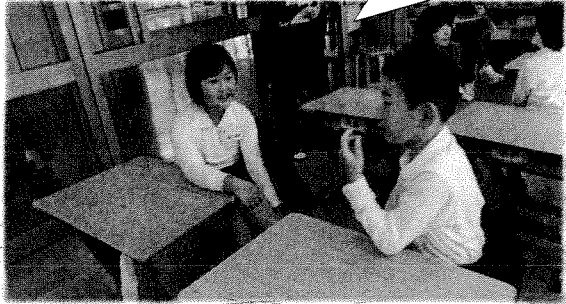
めざす子ども像			
自分がすぎ、友達がすぎ、地域がすぎと言える子ども			
中学校	個性を伸ばして充実した生き方を追求する。	温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。	自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。
	自分の特徴を知って、思い所を攻めよい所を積極的に伸ばす。	だれに対しても思いやりの心をもつ。相手の立場に立つて親切にする。	公憤心をもって法やまもりを守り、自他の権利を大切にしながら進んで義務を果たす。
小学校	自分の特徴に気付き、よい所を伸ばす。	相手のことを思いやり、進んで親切にする。	約束や社会の決まりを守り、公憤心をもつ。
	自分のよい所に気付く。	身近にいる人に温かい心で接することができる。	約束やまもりを守り、みんなが優しい様子を大切にす。
	★	★	★
	自尊感情	思いやり	社会性

発達の段階





ペアで互いの考えを聞き合  
い、認め合う場を作る。



○日常の教育活動において

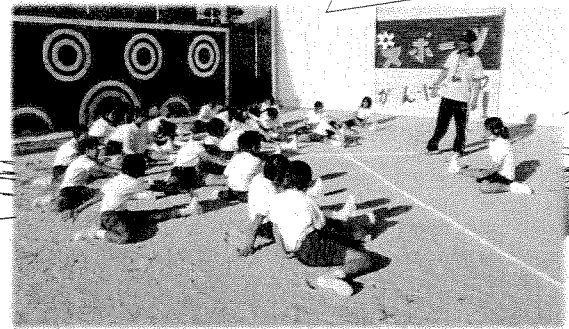
教職員と児童があいさつ



合同（小・中・高）  
海岸清掃ボランティア



中学生が小学生に陸上の指導



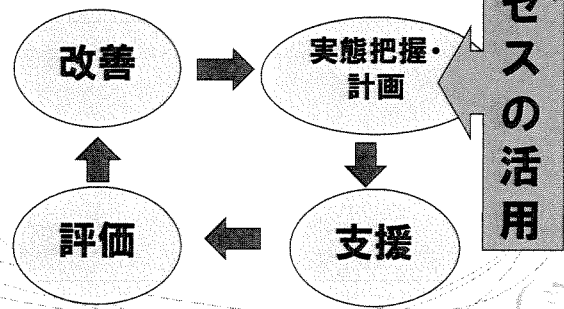
（3）実態把握と支援の在り方

学期ごとに、学校適応感尺度

（アセス）を実施し、

支援に活用

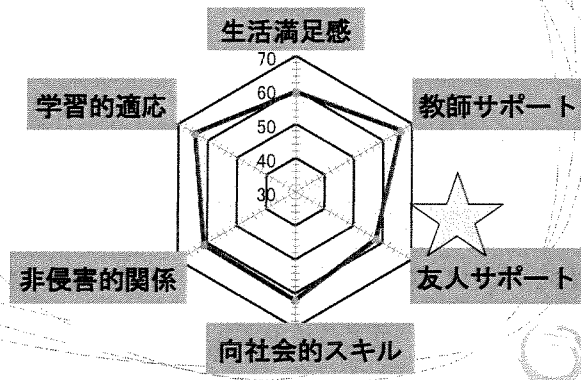
PDCAサイクル



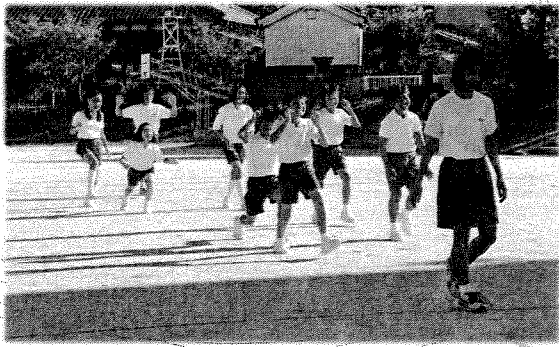
## 学校適応感尺度（アセス）

学校に対する適応の状態を  
児童生徒の主観から把握  
するもの

## アセス 個人特性票

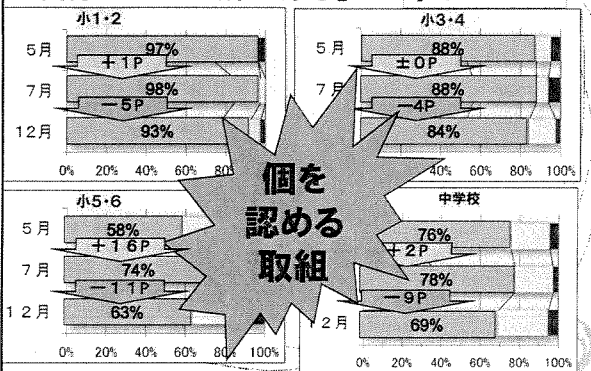


## 児童生徒の関わりを豊かに

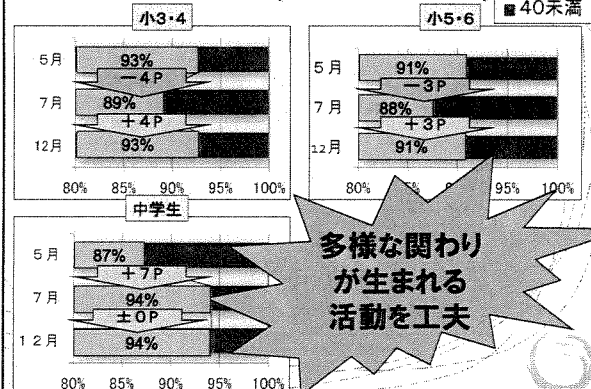


## 研究のまとめ

### 道徳アンケート 「自分にはよい所がある」

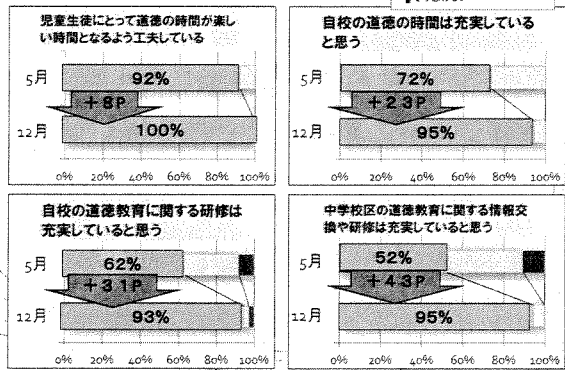


### アセスアンケート(友人サポート)





## 教職員アンケート



## 成果

- 道徳教育に関する意識の向上
- 各校における道徳の時間の充実
- 発達の段階に応じた指導の系統性の確立
- 多面的な児童理解に基づいた人間関係づくりへの支援

## 今後に向けて

- 各教科・領域等と関連させた指導
- 発達の段階に応じた指導の在り方
- 家庭や地域社会との連携

義務教育9年間を見据えた  
道徳教育の充実をめざして



ありがとうございました

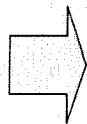
# 平成24年度能美中学校区推進地域道徳教育研究大会

研究主題 **豊かな人間性と社会性を育てる道徳教育の創造**  
～生徒指導の三機能と道徳の時間との関連を生かして～

能美中学校区 めざす子ども像

**自分がすき、友達がすき、地域がすきと言える子ども**

自尊感情  
を高める



共感する力や思いやりの心、協力し合う態度を育てる  
集団や社会の一員としての自覚と責任を育む

**特別活動**

**道徳の時間**

**各教科等**

**生徒指導の三機能**

自己決定の場  
を与える

自己存在感  
を与える

共感的人間関係  
を育成する

### 研究仮説

生徒指導の三機能と道徳の時間との関連を生かした道徳教育の充実を通して、児童生徒の自尊感情を高めれば、児童生徒は自分に自信をもつようになり、共感する力や思いやりの心、協力し合う態度が育ち、集団や社会の一員としての自覚と責任を育むことができるであろう。

### 研究の指標

- 自尊感情に関する意識調査・・・道徳アンケート「自分には、よい所があると思う」の項目について、肯定的評価（そう思う、どちらかといえばそう思う）の児童生徒を小学校と中学校とも、それぞれ5%以上アップする。
- アセスアンケート・・・学校適応尺度（アセス）について、友人サポート（プラス面）が40以上の児童生徒を95%以上にする。

### アセスアンケートの指標について

アセスとは、学校適応尺度を表します。児童の内面（学校適応感）を客観的に見取る一つの指標として活用しています。友人サポートの指標では、40未満の児童生徒は、友人関係において何らかの支援の必要性が高いと考えられる状況です。

## 研究のあゆみ

児童生徒の健全育成、道徳教育の実態に関する情報を交換し合うとともに、4校が連携を図りながら、義務教育9年間を見据えた道徳教育の充実を図る。

4月小・中合同研修会



講話「豊かな人間性と社会性を育てる道徳教育の創造」

5月授業研究（鹿川小）



授業後の研究協議会

7月授業研究（中野小）



講話「生徒指導の三機能と関連を図った道徳教育の在り方」

8月小・中合同研修会・合同指導案検討



9月授業研究（高田小）



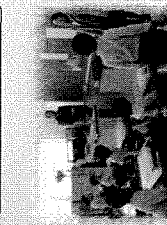
10月授業研究（高田小）



10月授業研究（能美中）



12月授業研究（鹿川小）



## 生徒指導の三機能と道徳の時間の関連を生かして

### 学習指導案の工夫

- 特徴がわかるように、読みながら黒板に貼る。
- 意思表示カードを挙げて、自分の考えを示させる。  
(自己存在感を与える)
- 「だみ所」マインナスマ面と報えていながら、おさえる。

学習指導案に生徒指導の三機能との関連を記述し、指導に生かす。

グループで話し合う際、出された意見は全てホワイトボードに書かせ、互いの考えを認め合わせる。  
(共感的人間関係を育成する)

### 書く活動の工夫

書く活動を取り入れ、自分の考えをつかりともたせる。  
(自己決定の場を与える)

### 話し合い活動の工夫

ペアで互いの考えを聞き合い、認め合う場を作る。  
(共感的人間関係を育成する)

### 表現活動の工夫

役割演技を取り入れ、全員に活躍の場を作る。  
(自己存在感を与える)

### 板書の工夫

ネームプレートで意思表示をして、自分の立場を明らかにさせる。  
(自己決定の場を与える)

## めざす子ども像

自分がすぎ、友達がすぎ、地域がすぎと言える子ども

中学校

高学年

小学校

中学年

低学年

個性を伸ばして充実した生き方を追求する。

自分の特徴を知つて、悪い所を改め、よい所を積極的に伸ばす。

自分の特徴に気づき、よい所を伸ばす。

自分のよい所に気付く。

温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。

だれに対しても思いやりの心もち、相手の立場に立って親切にする。

相手のことを思いやり、進んで親切にする。

身近にいる人に温かい心で接することができ。

自己の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。

公徳心をもって法やきまりを守り、自己の権利を大切にしながら義務を果す。

約束や社会の決まりを守り、公徳心をもつ。

約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切に。

自尊心

思いやり

社会性



## 研究のまとめ

### 《自尊感情に関する意識調査》 (%)

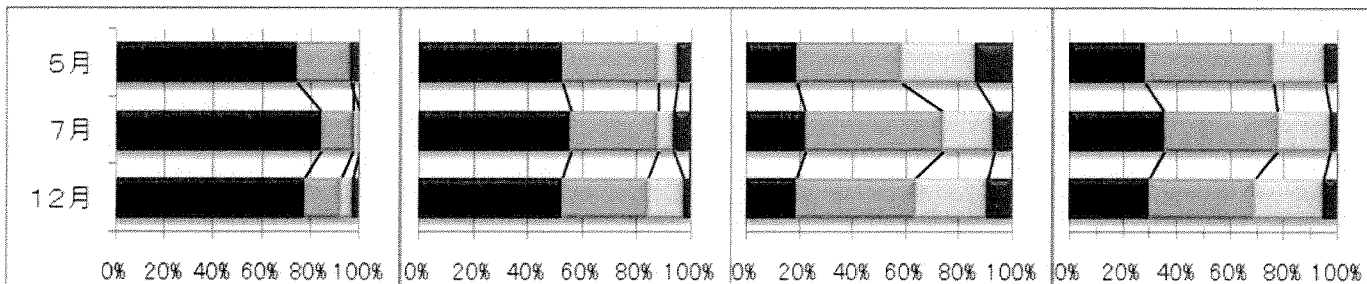
○自分にはよい所がある。(道徳アンケート)

小学校(1, 2学年)

小学校(3, 4学年)

小学校(5, 6学年)

中学校(全学年)



小学校は、5月と7月の肯定的評価(そう思う, どちらかと言えばそう思う)を比較すると、全学年で肯定的評価が増加した。(特に5・6学年は1.6P増加) 中学校は、5月と7月を比較すると肯定的評価をする生徒が約2P増加した。どの学年も、12月に肯定的評価の減少が見られたのは、取組により、自己評価がより客観的で厳しくなったことが原因の一つと考えられる。今後、さらに様々な場面で個を認める取組を進め、自尊感情をより確かなものに高めていくことが重要である。

### 《アセスアンケート》 (%)

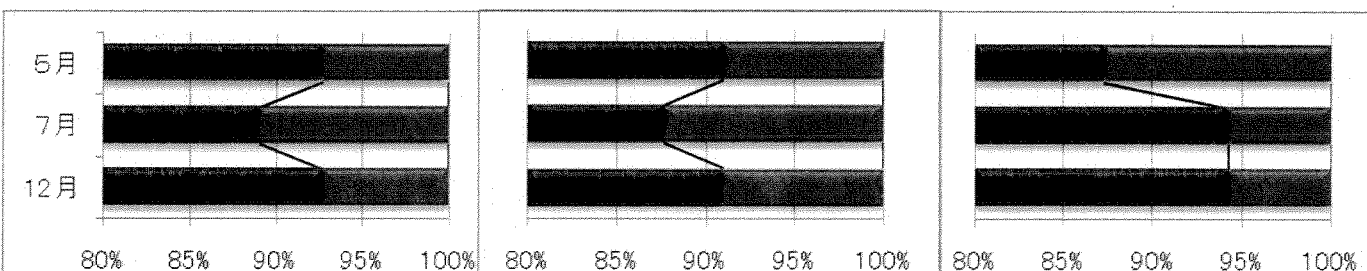
○友人サポート(アセスアンケート) 40以上及び40未満の児童・生徒の割合

※40未満の児童生徒は、友人関係において何らかの支援の必要性が高い状況と考えられる。

小学校(3, 4学年)

小学校(5, 6学年)

中学校(全学年)

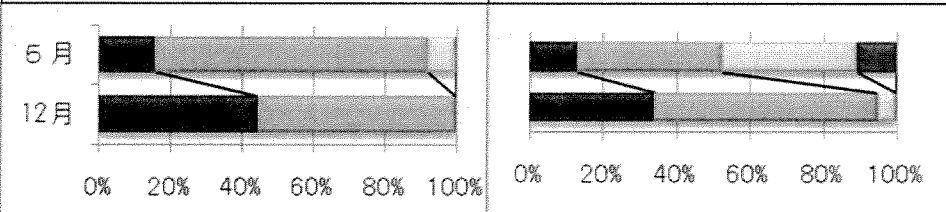


小学校は、7月は3P減少したが、12月は5月の数値に戻った。  
中学校は、40以上の生徒が7月から増え、5月と比較すると6P以上増加という、よい変容が見られた。  
友人サポートが増えたり減ったりする現象は、よりよい人間関係を構築していく上で、自然な姿と捉えている。今後も、人間関係が常に変化していることを踏まえ、児童生徒が互いに認め合い、助け合い、励まし合う場を積極的に設け、多様な関わりが生まれる活動を工夫し、共感的な人間関係を深め、より強固なものにしていきたいと考える。

### 《教職員の意識調査》 (%)

児童生徒にとって「道徳の時間」が楽しい時間となるよう工夫している

中学校区(推進地域)の道徳教育に関する情報交換や研修は充実していると思う



■ そう思う  
■ どちらかと言えばそう思う  
■ どちらかと言えばそう思わない  
■ そう思わない

## 成果

- 教職員間の連携が深まり、道徳教育に関する意識が向上した。
- 指導内容や指導方法の工夫により、道徳の時間が充実した。
- 発達の段階に応じためざす子ども像を共有し、系統性を確立することができた。
- アセスを活用することで多面的な児童理解に基づいた人間関係づくりへの支援をすることができた。

## 今後に向けて

- 各教科・領域等との関連させた指導を行い、道徳的实践につなげる。
- 発達の段階に応じた指導の在り方を研究し、9年間を見通した教育を推進する。
- 家庭や地域社会との連携を深め、ともに道徳教育を進めていく。